



「高野山アーカイブ」の一般公開について

<https://archives.koyasan-u.ac.jp/>

【はじめに】

高野山大学は、平成 28 年度に文部科学省の「私立大学研究ブランディング事業」（タイプ A: 社会展開型）の採択（応募 129 件中採択 17 件）を受け、その支援の下に、「高野山アーカイブ」の構築と世界遺産高野山の生成・発展・継承に関する密教学的研究」（以下、「高野山アーカイブ」プロジェクト）を推進しています。その最初の成果として、2017 年 7 月 31 日より、高野山大学図書館所蔵の「胎蔵秘密略大軌」（寛平法皇撰）の HP 上での公開を開始いたしました。この機会に私ども高野山大学の取組を広く一般に知っていただきたく、報道発表の場を設けた次第です。今後は順次公開コンテンツの充実を図って参ります。

【事業概要】

「高野山アーカイブ」プロジェクトは、5 カ年計画として採択された事業です。この 5 年で基礎を構築し、長期的には 10 年、20 年のスパンで「高野山アーカイブ」を進化させていく予定です。

1200 有余年の伝統を有する世界遺産・高野山に位置する高野山大学は、図書館を中心に、真言密教や日本の歴史・文化等に関わる膨大な資料を有しています。その中から特に重要な資料を選んで、アーカイブ化して保存し、広く内外の研究者や一般の方々に公開してゆきます。また高野山の古地図、古写真等の収集と Web 上での公開を進め、高野山へ参拝に訪れる人々の便宜に供します。このようにして高野山の歴史と文化を未来に伝えてゆく地域貢献型の研究事業が、「高野山アーカイブ」プロジェクトです。

「高野山アーカイブ」を活用することで、貴重資料へのアクセスが容易になるのみならず、高野山大学と高野町・高野山霊宝館などの諸機関との連携が促進されることが期待できます。また、世界中の人々が時間や場所の制約を受けずに、高野山の歴史と文化にアクセスできることから、密教の新たな研究を促し、国際的な宗教・観光都市としての高野山の魅力の発信が可能となり、それは高野山という地域の再発見につながります。

【まとめ】

「高野山アーカイブ」プロジェクトの目的は次のようです。

- ①真言密教の研究への新たな研究ツールの提供
 - ②高野山に関する密教研究の深化・促進
 - ③国際的な宗教・観光都市としての地域の再発見
- ①②③を通じて、世界遺産高野山全体のブランド力を高めることを目指します。

スマートフォン・タブレットの方は
以下の QR コードをご利用ください。

